

令和7年度 大阪府立堺聴覚支援学校 第1回 学校運営協議会

日 時 ; 令和7年7月9日(火) 9:45～11:45

場 所 ; 大阪府立堺聴覚支援学校 会議室

出席者 ; 校長 甲斐 俊夫

【協議会委員】 井坂 行男 (大阪教育大学教育学部 教授)

山下 真由美 (堺市立百舌鳥支援学校 校長)【欠席】

早川 良次 (シャープ特選工業株式会社 社長)

廣瀬 宜礼 (大阪河崎リハビリテーション大学 講師)

田中 與志男 (堺ろう学校同窓会 会長)

古田 春奈 (本校PTA 会長)

【事務局】 教頭・事務長・首席・幼稚部主事(欠席)・小学部主事・中学部主事

【傍聴者】 無し

1 開会

2 学校長より挨拶

3 校内見学

・ 幼稚部 → 小学部 → 幼稚部→小学部(水泳)

4 協議

(1) 令和7年度学校経営計画について(校長より説明)

【委員からの主な意見・質問及びその回答】

1. 地域に開かれた安全安心な学校づくりについて

- 大阪・関西万博への参加計画とその目的は？

→ 校外学習として中学部が万博に参加予定。目的は「世界を知る」体験学習。

- 地域の学校との交流は？

→ 中学部は賢明学院中学校と継続的に交流を実施。小学部は西百舌鳥小学校と交流。

2. 確かな学力の育成について

- AIの教育活用とその指導方針は？

→ 中学部の総合でAIを使った調べ学習を実施。年齢制限を考慮して教員が付き添いをしている。AI活用のモラル教育は技術科で扱うが、教育課程への落とし込みは課題。

- 企業での聴覚障がい者によるIT活用事例が紹介され、教育現場でもICT活用の可能性が広がっているとの指摘。

3. 支援教育の専門性向上について

- 聴能業務の専門性向上の現状と課題は？

→ 外部専門家による研修を実施し基礎的なスキルの習得を重視して積み上げていく方針。

4. 聴覚障害教育のセンター的機能について

- 早期教育相談の満足度調査の内容は？
→ 学校教育自己診断とは別に早期相談の保護者にアンケートを実施し、肯定的評価を集計。今年度は19名が相談に来校されている。
- 早期教育相談後の進路状況は？
→ 本校に入園されるお子さまもいるが、地域保育園を選ぶ家庭が多い。
南部地域は人口が少ないことにより聴覚障がいの子どもの人数も少ないため、保健所等へ情報発信や支援強化が課題。

5. 働き方改革について

- 学校行事の見直し内容は？
→ 体育祭・文化祭の時期や内容を検討中。暑さや児童数減少、障がいの重複などを考慮し、プロジェクトチームで議論中。

(2) その他、ご意見・ご質問

- 幼稚部では、子どもたちが声を出しながら手話を使っている様子が印象的だった。
- 小学部では指文字を使って先生とコミュニケーションを取っていた。
- モニターを活用した授業は効果的だと感じた。
- 幼稚部の見学で、保護者の付き添いがなくなっている場面をみて、昔は親が家で先生代わりとなり、家庭で復習をさせるスタイルだったが、今は先生ではなく母親として子どもを支える形になっている面はいいことだと感じている。
- 昔の自分たちにはなかったICT環境で、今の子どもたちは当たり前のように使っている。子どもたちがその技術をどう受け止めているのか、興味がある。
- 教室のICT環境が整っており、情報の発信・受信が双方向以上のかたちで可能になっている。
- ICT技術の活用には倫理性が求められるため、「気づき」の力が重要。
- 社会でも議論や協議の頻度が求められるように、教育現場でも正しい方向性の共有が大切。
- 教育・開発・サービス提供者が情報量の多さに対応する必要があると感じた。
- 授業参観を通じて、先生方の工夫や配慮が向上していると実感。
- ICTの活用により、子どもたちにとって分かりやすい授業になっている。
- 子どもたちがもっと積極的に言語化し、やり取りを深める場面が増えることを期待。
-

5 事務局より連絡

6 閉会の挨拶（校長より）